

サイディングボードの高耐候性・
透明防水保護

セブンサイディングコート

施工要領書

2020年9月改訂版



Seven Chemical
株式会社 セブンケミカル

下地処理

□ 下地ごしらえ

- ① サイディングボードに破損・欠損や反り、また、ひび割れの程度が悪く補修が難しい場合には予めサイディングボードの張り替えなど適切な補修をしてください。
- ② 伸縮目地やその他のシーリング材が劣化し、補修の必要な箇所は、打ち替えを行い、乾燥硬化させた後でシーリング材の上へは養生するか、見切り、塗装は避けてください。
やむを得ずシーリングの上へ塗装される場合、アクリルウレタンシーリング材をお勧めしておりますが、極稀にシーリング材の挙動が大きな部分では塗膜の皸やひび割れの発生する場合があります。
現在、変成シリコーン NB タイプ上での塗装不具合報告は有りませんが、これまでに塗膜の膨れ皸など不具合は発生しておりましたので、塗膜の滲み止めプライマー「セブンファンデクリヤー I」をシーラー施工前日にシーリング材の上に塗りつけておくことも検討ください。
●但し、挙動が大きな部分では塗膜の皸やひび割れの発生する場合があります。
- ③ 下地ごしらえは、水性サイディングコートシーラー塗付前に十分行ってください。
- ④ かびや藻などの微生物汚染を生じている場合は、カビ取り材、アルコール液で殺菌処理してください。
- ⑤ 塵埃や付着異物などは、安全性の高い洗浄剤等で除去し、その後は十分に高圧洗浄などで洗い流してください。
- ⑥ 水洗後のサイディングボード面を十分乾燥させてください。

□ 施工全般における注意事項

- ① サイディングボードが「直張り工法」(透湿防水シート上に直接張り)の場合には内壁側に介在した湿気が表側に伝わり易いため、サイディングコートの施工はできません。「通気工法」であることをご確認ください。
● 直貼り工法の場合、一般的にシーラー/トップ、又はトップ塗り工法での仕上げです。
- ② 水性サイディングコートシーラー及び、水性サイディングコート、水性サイディングコートトップ施工後一度透明になっても、降雨が当たると吸水し塗膜の白濁、透明乾燥を繰り返す場合があります。
- ③ 低温(5℃以下)の場合、樹脂の乾燥硬化に支障をきたす場合があるため施工を避けてください。
高温(気温 35℃以上、躯体温度 30℃以上)、及び湿度 80%RH以上の場合、塗膜乾燥、ローラー作業性及び仕上げ性に支障をきたす場合がありますので十分注意してください。
- ④ 降雨、降雪の恐れがあるときは、施工を避けてください。
- ⑤ 風速 5m/sec以上のときは、塗材の飛散被害・塗付けムラ等の支障をきたすので、十分風養生対策を行うか施工を避けてください。
- ⑥ 材料の保管は、風雨・直射日光を避け、必ず 5℃以上の冷暗所で保管してください。
- ⑦ 塗付け途中、又は乾燥途中に急に雨が降ってきたときは、少なくとも塗膜が乾燥するまで、天幕などで覆って流出しないようにしてください。予め、軒養生も検討ください。
- ⑧ サイディングボードにひび割れが発生している場合は、水性サイディングコートシーラー塗装後、水性サイディングコート(主材)をひび割れ筋にハケ又はローラーやゴムへら等で 0.5kg/m²以上増塗りを行い、乾燥後主材塗り工程に進んでください。
- ⑨ 各工程での塗装後すぐに塗面を養生シート等で密閉すると、養生シートと塗膜が接着し剥がれなくなることがあるので、養生シート等で密閉しないように注意してください。
- ⑩ 材料の取扱いの前には、SDSを確認してください。

セブンサイディングコート の施工

□ セブンサイディングコートの塗り工程

工 程	使用材料	希 積 (重量比%)	塗付け量 (kg/m ²)	工程時間 (時間)	施 工 方 法
1 下塗り	水性サイディングコート シーラー	水道水 (0~10)	0.12 ~0.15	3以上 24以内	中毛ローラー
2 主材塗り	水性サイディングコート	水道水 (1~5)	0.5 ~0.7	16 以上	標準目砂骨ローラー
4 上塗り	水性サイディングコート トップ	水道水 (0~10)	0.12 ~0.15	3以上 24以内	中毛ローラー
5 上塗り	水性サイディングコート トップ	水道水 (0~10)	0.12 ~0.15	24以上 (最終養生)	中毛ローラー

□はじめに

セブンサイディングコートは、透明仕上げの為、汚れたローラー、ハンドル等の道具は使用しないこと。

1) 下塗り

- ① 下地調整が十分行われていることを確認後、下塗り工程を行ってください。
- ② 水性サイディングコートシーラーは、水道水で0~10% (重量比) 希釈しハンドミキサー等で均一に混合してください。
- ③ 中毛ウールローラー塗りにより、塗り残し、塗り継ぎムラの生じないよう均一に所定量塗り付けてください。
目地モルタル、タイル面の濡れ色が均一にならない部分は、乾燥後、塗り増しし仕上がりを均一にしてください。
(下地、サイディングボードの柄模様や状態により塗布量が異なる場合があります。)

2) 主材塗り (標準目砂骨ローラー塗り)

- ① 指触で下塗りの乾燥後(3時間以上)、主材塗りを始めてください。
- ② 水性サイディングコート(主材)を1~5% (標準3% 重量比) 水希釈し、均一に混合する。混合方法は、気泡が混入しないよう低速攪拌機または、攪拌棒などで静かにのの字を書くように攪拌してください。
(通常の高速ハンドミキサーは、泡混入のため使用できません。)
- ③ 標準目砂骨ローラーに水性サイディングコートをたっぷり含ませ、気泡が混入しないように、配り塗り、仕上げ塗りし均一に仕上げる。(予め砂骨模様の仕上げ方向を打ち合わせてください。)

3) 上塗り (中毛ローラー塗り)

- ① 水性サイディングコート(主材)の乾燥硬化を確認後、上塗り工程を行う。
- ② 水性サイディングコートトップの基剤/硬化剤を 10: 1(重量比)とし、基剤中の艶消剤が缶底や縁に沈降し層状態になっている場合もありますので、へらや、皮スキで缶の縁や底部まで十分に剥がし落とし水道水で0~10% (重量比) 希釈し、ハンドミキサーで攪拌混合するよう特に注意してください。(別缶への空け替えをお勧めします。)
- ③ 中毛ローラーにより、塗り残し、塗りムラの生じないよう均一に塗り付けてください。
- ④ 1回目のトップコートが十分に乾燥してから、2回目を塗り残しのないよう、均一に塗り付けてください。
- ⑤ 水性サイディングコートトップの塗り残し、カスレ部分では、塵埃等で黒く汚れてきます。

使用材料一覧表

□ 荷 姿

製 品 名	容 量	荷 姿	備 考
水性サイディングコートシーラー	15kg	石油缶	水性1液
	4kg		
水性サイディングコート	14kg	石油缶	水性1液中塗り
	4kg		
水性サイディングコートトップ	11kg セット	石油缶	基剤/硬化剤 10:1
	3.3kg セット		
セブンクリーナー	1ℓ	ポリ容器	洗浄剤



東京都新宿区西新宿 7-8-13 栗原ビル 3 階

TEL 03(3366)2616 FAX 03(3366)2619

e-mail kimura@seven-chemical.co.jp

e-mail kitajima@seven-chemical.co.jp